東京ＦＩＡニュース

第３１号　2005年1月10日　東京国際農業者協会

平成１５年度壮行会記念講演

「人生は夢」

東京大学教授　蒲島郁夫（米二２回生）

来る２月６日(日)、東京農業大学校友会館にて本年度研修生の壮行会を開催いたします。今回は東京大学教授蒲島兄をお招きして、昨秋出版されました兄の自叙伝「運命」をもとに若者たちに「夢」を持ち続けることの意義を講演していただきます。一般の方々の参加も受付けています。ご家族・友人お誘い合わせいただき、皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは裏面をご覧下さい。

■「運命」を読んだ方々の感想です

蒲島さん、　ご無沙汰しています。伊藤一男です。
この度の「運命」の出版おめでとうございます。少し遅過ぎたくらいに思います。
最初のページを開いて一気に読み上げました。既に殆どを知っているつもりでも感激と興奮を抑えられませんでした。スタートラインが他の人たちよりずっと下にあったからこそさまざまな経験ができた私の人生で何よりも良かったと思うのは夢があったことである。そして自分自身で苦労したという感覚は無いと書かれていますが、その感覚こそが蒲島さんの真髄ですね。実際は人にまねの出来ない苦労と努力の結果が運命を切り開いてきた事は疑う余地の無い事実ですから・・・
私もよく「運も実力のうちだ」と言ってきましたが、努力の無いところに運は回ってこないものです。この本を全ての若者に読んでもらいたいと思います。特に補助金の削減で派米事業が岐路に差し掛かって推進委員会を立ち上げて運動を展開していますが、役所にも政治家にも是非読んで欲しいと願っています。
伊藤一男兄（東京ＦＩＡ顧問）

田舎のこととて、注文した蒲島教授の「運命」が遅ればせながら先日届き、先読されている諸兄と同様、導入部から引き込まれ、自分の対米体験とダブらせながら一気に速読してしまいました。約１２億３千万円のバイオマスニッポン戦略に係るプロジェクトで悪戦苦闘中の私にとって、忙中閑ありの今夜はこの本のおかげでよい時間を過すことができました。
私はグループHですから、７５年の冬にネブラスカ大学に居たわけで、そのときに文中に出てくる有馬儀信さんが私ら畜産グループの通訳でした。その有馬さんに「あなたは成績がエクセレントだそうですね。」といったら、彼は、「俺よりすごい奴がいる。」と答えられたことが思い出されます。たぶんその人が蒲島さんだったのかもと思うと、一層の親近感が沸いてきます。読書後の今「1975 UNIVERSITY OF NEBRASKA JATP OUTSTAND ENGSCHOLARSHIP」と刻印されたBULL像を傍らに、当時へのタイムスリップに浸りながらこの一冊を明日への糧とすべく醸成中のひと時です。そして、この本を息子たちの団欒する部屋に放置してきました。
ちょっとばかり故郷に農業基盤が整っていた長男だったばっかりに「この賞をとると、もし留学した場合は奨学金がでるそうだ。」との噂話も、わが世界とは無縁と聞き流したことが脳裏をよぎり、持っていた夢の追い方によって生き方が変わることを実感するがゆえに、なお一層蒲島教授ら非営農分野で活躍されている諸兄のことが嬉しく、かつ誇らしく感じてしまいます。（決して自分の足跡を否定するものではなく、確実に自分を超えて活躍されている仲間への賛辞であります。）この本がより多くの人に知られることを願いながら就寝します。
米２年８回生　杉本兄（八尾町役場）

ハイライト:

- 記念講演　「人生は夢」
- 会員寄稿　講習所だより
- 募金報告　ご協力感謝します

目次：

壮行会記念講演	1
会員寄稿	3
募金報告	4
シンポジウムのお知らせ	4

明けまして
おめでとうございます

グリーン・アカデミー・ホール
東京都世田谷区桜丘3-9-31
TEL：03-3492-1983

蒲島教授講演会および懇親会のご案内

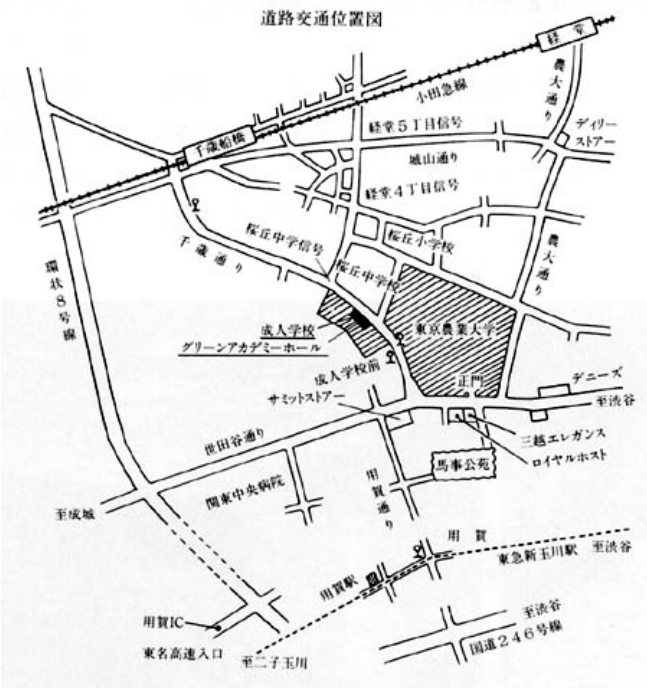
日時：２月６日(日)　１４時　　会費：講演会　無料
場所：東京農業大学校友会館　　懇親会　４千円
グリーン・アカデミー・ホール

日	程
12:00～13:00	役員会
13:30～14:00	受付
14:00～15:30	講演
15:30～16:00	質疑応答
16:30～18:30	懇親会（農大食堂）

ー　会場へのアクセス　ー

◎小田急線（地下鉄千代田線）
・千歳船橋駅下車　徒歩15分
　等11、渋23、用01のバスにて約5分
　農大成人学校前下車
・経堂駅下車　徒歩15分
◎東急新玉川線（地下鉄半蔵門線・銀座線）
・用賀駅下車　徒歩20分
　祖師ヶ谷大蔵行きバスにて約5分
　農大成人学校前下車

◎バス
・渋谷駅より祖師ヶ谷大蔵行き（渋23）
　20番乗場より約40分
・等々力駅より祖師ヶ谷大蔵行き（等11）
　にて約20分　農大成人学校前下車
＊渋24、渋25、渋26
　農大正門前・桜丘3丁目より徒歩3分



◆講演会・壮行会参加申込書

締切　１月２５日（火）必着

氏　名	
住　所	
連絡先	
講演会	・参加　・不参加　（どちらかを○で囲ってください）
懇親会	・参加　・不参加　（どちらかを○で囲ってください）
メ　モ	

電話
03-5703-0254
FAX
03-5703-0255
電子メール
adachi@jaec.org

役員会	当日12時より
・出席	・欠席
＊役員の方のみご記入下さい	

はじめまして

依田　賢吾　米２　第３５回生

はじめまして。米国２年制　第３５回生OBの依田　賢吾と申します。埼玉県の熊谷市出身ですが、日頃FIAの方々にお世話になる機会が多く、先日のハーベストパーティより晴れてFIAに入会し、お仲間に加えていただきました。以後よろしくお願い致します。
研修生時代は短期がオレゴン州のImai Orchard、長期はコロラド州のGrant Family Farmsで過ごしました。コロラドでは、主にセンターピボットスプリンクラーを管理するイリゲーターとして、昼夜問わず水に追いまくられていました。フィールドを往復する車の中で生活し、道路で力尽きて仮眠をとることもしばしば。深夜、車の窓をノックする音に気づいて目を覚ますと、周囲を消防車とパトカーに囲まれていて驚いたことも、今ではいい思い出です。
帰国後は、『現代農業』でおなじみの農文協に就職し、全国の農村をカブに乗って渡り歩いています。先月は千葉県の成東町を回っており、ドイツOGの今関　百合さんのウェディングを祝っていたかと思いきや、今はかの有名な秋田県大潟村を回り、ツワモノOBの方々にも可愛がっていただいております。来月はどこの農村を歩いていることやら。そろそろ寒くなってきたので、暖かいところがいいなぁ。秋田のあられまじりの風は、カブライダーには少々きつすぎます。
農村を回っていて、村人から「あの人の話聞いてきな、面白いから。」と言われる人の色んな噂話を聞いていると、「若いころはアメリカ行っててね・・・・。」ということもしばしばあります。もしや、と思って行ってみると、やっぱりOBなんですよね。改めてこの研修制度の面白さを感じる瞬間です。
そんな調子で、みなさまのところにも突然現れるかもしれませんが、そのときはぜひ話の一つもしてやって下さい。よろしくお願い致します。どこから発信されるかわからない、不定期旅情報の欲しい方がおりましたら、
yoda-k@mail.ruralnet.or.jpまでご連絡下さい。それではまた。

農文協
http://www.ruralnet.or.jp/

東日本講習に参加しました

足達　聡　米２　第３０回生

11月30日～12月14日まで千葉県流山市「流山青年の家」で行われた米国2年制東日本講習の一環として、11日に実施されたハイキングに参加しました。東日本講習は所長の椎橋美孝OBを中心に菅原春恵OG（岩手）、林英之OB（長野）、安福元章OB（兵庫）が助手を務めていて、米谷雄人OB（秋田）も9日から手伝ってくれました。
11日のハイキング時は安福OB、林OBの都合が悪く、家に戻るとのことで急遽助っ人をお願いしたところ中島寛一OB、神宮清子OG、美濃輪朋史OB、向田良OB（以上、東京FIA会員）が快くボランティアで手伝ってくださいました。朝食、昼食の運搬やけが人を乗車させたりなど対応してもらいました。中島OBからはバナナをたくさん差し入れをしていただきましたし、岡本哲哉OB（千葉）からはおいしい食パンの差し入れがありました。ハイキングは朝6時、日の出前に流山青年の家を出発し、江戸川沿いを歩きました。「矢切の渡し」を二組に分かれて渡り、柴又帝釈天でお参りしてから昼食（おにぎり）をとり、後半はゴミ拾いをしながら帰ってきました。30km弱でしたが全員が到着したのは午後4時半を過ぎていました。好転に恵まれ、気分良く研修生と話しながらハイキングをしてきました。講習期間中、研修生たちは夜遅くまで英語を勉強したり、朝早くからのハードなトレーニング耐えながら、講習していました。
3月6日～12日に第二次講習が同じ会場で実施されますので、一度後輩の姿を見に来ていただき、声を掛けていただければありがたいです。

東京国際農業者協会
〒144-0052
東京都大田区蒲田5-39-2-6Ｆ
TEL:03(5703)0253
FAX:03(5703)0255

新潟県中越地震義援金に募金いたしました

前号で義援金の協力をお願いいたしましたところ、たくさんの皆様から募金をいただきました。12月15日日本赤十字社「新潟県中越地震義援金」として募金いたしました。ご協力ありがとうございました。被災地ではこれから冬本番、まだまだたいへんですが、復興に向け頑張ってください。

スマトラ島沖地震救援金募集中
【郵便局から振り替えられる場合】
◆受付方法　郵便振替
◆口座名義　日本赤十字社
◆口座番号　００１１０―２－５６０６
◆受付期間　平成16年12月28日（火）から平成17年１月31日（月）
振替用紙の通信欄に「スマトラ島沖地震救援」と明記してください。
郵便局窓口での取扱いの場合振替手数料は免除されます。
【銀行から振り込まれる場合】
◆義援金受入口座
みずほ銀行　新橋中央支店　普通預金口座　１９５４８００
◆口座名義　日本赤十字社　海外救援金口２
※みずほ銀行の本店・支店及びみずほ銀行のＡＴＭから振り込まれる場合は、１月５日より振り込み手数料が無料となります。

募金状況（最終版）

瀬井冨雄	3,000
内木秀道	10,000
中島寛一	20,700
櫛本庄司	10,000
堀内久貴	10,000
足達聡	1,000
早藤義則	5,000
村田正	5,000
柳沢宣昭	1,000
堀内睦司	10,000
斉藤克弥	10,000
伊藤一男	10,000
内木秀道	2,000
玉川哲雄	1,000
藤森英明	1,000
美濃輪朋史	700
本間惇	10,239
早川真理	20,000
みどりの箱	9,361

畜産シンポジウム参加者募集のお知らせ

1月26日栃木県で開催される「畜産経営衛生向上国際シンポジウム」の参加希望者を募集いたします。

開催日：１月２６日（水）
場所：パルティとちぎ男女共同参画センター
テーマ：「畜産物の安全・安心管理システム構築に向けて」
―生産段階における衛生管理の導入―
参加費：レセプション５,０００円

プログラム
(1)基調講演（同時通訳）
演題１：「ドイツにおける検査システムの功罪
―生産者と消費者の信頼関係を築く―」
講師：ラインハルト・パウ博士
（ドイツ、ラインラント地方州検査連盟事務局長）
演題２：「我が家の家畜衛生管理
―乳製品加工販売農家が実践する手法とは―」
講師：パウル＝ヨーゼフ・レッフェラー氏（ドイツ、酪農家）
(2)フロアー･ディスカッション（基調講演講師との質疑応答）
コーディネーター：萬田富治氏
（北里大学教授・フィールドサイエンスセンター長）

日　程

１２：００	受　　付
１３：００	開　　会
１３：３０	基調講演
１５：１５	休　　憩
１５：３０	フロアー ディスカッション
１６：３０	閉　　会
１８：００	レセプション

参加ご希望の方は至急事務局（足達宛）までご連絡下さい。
＊会員の方は参加費、往復の交通費をＦＩＡより支給いたします。
（報告書を提出していただきます。）

事務局連絡先
電話
03-5703-0254
FAX
03-5703-0255
電子メール
adachi@jaec.org